

2013年度 第17回 水月会総会

水月会会長 耳鼻咽喉科 鈴鹿有子

平成6年6月に発足した金沢医科大学女医会「水月（みなづき）会」の第17回総会、新人歓迎会が平成25年5月25日、金沢市民芸術村“れんが亭”で行われた。今回の幹事は耳鼻咽喉科が担当。出席者は研修医1年目5人、2年目2人、新入局員1人、会員18人と世話役1人の合計27名であった。れんが亭は金沢市民芸術村の広大な敷地の中にある赤煉瓦のアンティークな建物で、女子会には最適の環境であった。

まず会長の鈴鹿が水月会の概要、現在の会員数、新入会員の動向などの説明をした。毎年更新している名簿を見ながら、困ったときにはまず各臨床研究科に配する水月会会員に相談するよう、この名簿を身近において是非活用してほしいと述べた。今年の水月会会員数は123名で、昨年より8名増加している。

2013年度の女子研修医1年生は8人、2年生は7人で合計15名である。女子新入局者は消化器内科学に1人、麻酔科学に1人の合計2名である。ここ数年は男女合わせて研修医が増加し、個人的にも、また大学にとってもたいへん嬉しいことである。また新しい住居棟もでき、入居の権利はもちろん研修医に限られるが、環境が整備され全国にも秀でていとなると鼻が高い。さらに後期研修、つまり入局への道につながればと思う気持ちは皆同じで、水月会も一翼を担いたいとは常に考えている。

乾杯は神経内科の田中恵子教授が音頭をとった。お料理はイタリア風で、おしゃれに盛られ、おしゃれに食べた。新人の自己紹介、各医局からの会員の一言、病理学の清川悦子教授、皮膚科の西部明子先生、英語の澁谷良穂先生、消化器内科土島睦先生、女性外来の赤澤純代先生を始め、小児科の中村利美先生……。つまり全員が改めて自己紹介、近況を報告し、わいわいとなった。来年は小児科女子の担当。5名が出席されていて、来年も同様に熱い会にさせていただくことを約束した。

北辰同窓会の一部に属したことで、枠はあるとしても、水月会が大学の中でどういう位置づけにあるのか、事実わからない。しかし歓迎を受けた新人は、こんな会があるとは知らなかったが、たいへん楽しかったと言ってくれたし、それを囲んだ我々も、また妹ができたようで充実感に満ちた。「大学でもよろしくねー」と最後を締めた。